

市民協働ファシリテーター養成研修

近代建築で〇〇するっ！ ～築100年の歴史を持つ市役所で 特別な体験を～

庁舎管理チーム

鈴江、西川、中舎、村尾

日高、藤原、木村、中村



本編に行く前に・・・

ワークショップの難しさ

《所管課の想い》

- ・今まで散々考えてきた
- ・制約は守ってほしい
- ・その中で新しいアイデアが欲しい

《ワークショップ参加者の想い》

- ・ワクワクドキドキ、楽しみたい
- ・新しい気づきが欲しい
- ・自分参加した価値(市政への影響)を実感したい



市民協働
ファシリテータ



適度なバランスを保ち、どちらもWinWinになるようデザインすることが、市民協働ファシリテータの悩みどころであり、腕の見せどころ

上記の観点で、この後のページを見てください！！

★開催概要

＜テーマ＞近代建築で〇〇するっ！

～築100年の歴史を持つ市役所で特別な体験を～

＜開催日時＞令和5年11月21日 10:00～12:00

＜場所＞京都市役所 本庁 正庁の間

＜参加者＞一般参加者 9名

(地域の方、学生等)

京都市職員 7名

(市民協働ファシリテーター受講生等)

ワークショップのねらい

テーマの背景

- ★京都市では庁舎の歴史的・景観的価値を保存・復元し、
将来に渡り京都のシンボルとなるよう、市庁舎整備事業に取り組んでいる。
- ★世界の京都の「顔」として市民をはじめとする多くの方で賑わう場所として機能し、
再整備の効果も広く実感してもらうことが求められている。
- ★京都市の魅力発信の拠点となり、市民が誇れる本庁舎となるよう、特に正庁の間や和室について本市関連事業等で使わない期間の有効活用を検討している。

期待する効果

本市関連事業等で使わない期間を利用した、正庁の間及び和室での事業の企画案

- 事業者の収益活動として活用し、利用料収入など市の収入増につなげることができる事業
- 市庁舎の賑わいの創出や、市庁舎を活用した社会課題の解決につながる事業

参加者とともに目指したゴール

ワークショップのねらいを元に設定したゴールは、
世界から注目され、京都市の拠点となる建物が、
今後100年先も京都市のシンボルとして市民に愛され、多くの方で賑わう場所になるためのアイデアを得る。

～問い～

季節に応じて、正庁の間・茶室で〇〇するっ！

ワークショップのプロセス

アイデアの質と量どちらも得られるプロセスを設計

1

受付



春・夏・秋・冬から一つカードを選んでグループごとに分かれる

受付の時点でグループ分けを行った
⇒普通のグループ分け「1」「2」や「A」「B」ではないため、入った瞬間から参加者をワクワクさせる仕掛け



2

ワークショップの概要説明

受付が終われば、お茶室をご案内
⇒正庁の間とお茶室をアピールすると共に、この後のワークショップのインプットに

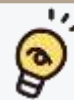


3

メンバーのことを知ろう

グループ内で自己紹介、代表者が全体に共有
・名前 ・所属(団体・企業など)・
・京都市役所の庁舎を1日自由に使えるなら、あなたは何をしますか？

メインの“問い”に繋がる条件なしの想像力が膨らむ“問い”を設定



4

テーマの背景・ルール説明

・本庁舎の歴史的な価値の説明や現在の課題について共有
・ワークショップ内のルール説明

今回の建て替えの背景や今後のありたい姿について、文化と歴史がある、他にはない京都市本庁舎のすばらしさと共に説明



5

問いの共有

・問い、条件の説明

【季節に応じて、正庁の間・茶室で〇〇するっ！】

「〇〇はしてはいけない」という“制限”ではなく、「正庁の間か茶室は使用すること」という“条件”を設定することでなるべく前向きな話し合いになるように調整



6

アイデア出し&ベストアイデアの決定

- (1)個人で付箋にアイデアを書き出す
- (2)ドット投票でベストアイデアを決める

移動先の班へのアドバイスを
行う場として設定。他班からの
声で、アイデアの質と量を広げるきっかけに



7

ワールドカフェ

他の班に移ってアドバイスを行う
※ベストアイデア発案者が残って他チームに説明

企画案を作成することで、質を高める



8

企画案の作成

他班からのアドバイスを基にベストアイデアを深堀
イベントに向けた、参加者募集のチラシを作成

9

発表・投票

各班の代表者による発表→1番わくわくした企画に投票:春グループに決定

《模造紙の工夫》
模造紙に、1. アイデア/2. ベストアイデア/3. アドバイスの欄を予め作成しておくことで、参加者に細かくルールを説明しなくても、全員が認識でき、スムーズな運営が行えた。
⇒参加者にとって、ワークシヨックに没頭できる環境をつくる

アウトプットサマリー

※ワークショップ参加者の人数を考慮し、今回は「秋」グループを作っていない。
(参加人数ごとに事前にシミュレーションを行う。)

春 アイデア・アドバイス (その他)

- ・ポイントラリー
- ・ホテル事業者との連携
- ・観光記念撮影スポット
- ・舞台、演劇
- ・舞子さんのお遊び
- ・古いフィルム上映会
- ・写生大会
- ・桜に関する美術展
- ・桜の生け花展示会
- ・写真展示
- ・ランチ会
- ・ピクニック
- ・カフェ利用
- ・春を感じる会
- ・市長・学長・学生対談
- ・留学生の交流会 (新大学生)
- ・模擬市議会 (こども/学生)
- ・お化け屋敷、怪談
- ・赤ちゃん誕生会
- ・ナイトウォーク
- ・100年後の京都の文化を
- ・話し合う会
- ・小学生の会
- ・企業家の会
- ・子育ての会
- ・会社員の会
- ・外国人観光客の会
- ・大学生の会
- ・同窓会
- ・新しい出会いを生み出す
- ・下鴨神社、植物園と市役所を結ぶ
- ・出会いのイメージ、季節感を出す



夏 アイデア・アドバイス (その他)

- ・ミニ紙風船まつり
- ・餅のペーパークラフト
- ・涼しそうめん
- ・食欲が出るメニューの紹介
- ・夕涼み
- ・接待会場に使う
- ・休憩スペース (避暑地)
- ・送り火の鑑賞
- ・送り火の由来について学ぶ
- ・地蔵盆
- ・琵琶湖花火大会の映像鑑賞
- ・お茶時体験 (珈琲、煎茶、抹茶)
- ・紅茶のポップアップストア
- ・茶室を銀色にする
- ・生け花教室
- ・番物 (浴衣) でお茶会
- ・夏のフォトコンテスト
- ・小学校と連携した事業にする
- ・これまでの伝統にとられない新たな担い手を
- ・日替わりで対象者を定める
- ・開催時期をずらす



冬 アイデア・アドバイス (その他)

- ・市長サンタ
- ・クリスマスの飾り、装飾
- ・クリスマスディナー
- ・子ども忘年会
- ・もちつき
- ・冬休み宿題スペース
- ・京都のおせちを食べる
- ・初詣休憩場所
- ・龍の絵展示
- ・書初め
- ・結婚式
- ・婚姻届受付所
- ・あたたかい読書会
- ・マラソン応援
- ・正月の間から豆まき
- ・チョコフェア
- ・バレンタインラッピング
- ・バレンタインアフタヌーンティー
- ・成人式 (or冬服) コーデ、ファッションショー
- ・高校生演奏
- ・茶室を塗る
- ・共通テストの次の日に
- ・民衆を圧迫しない



沢山のアイデアの中から
各班ひとつ、イベント案を作成
していただきました



提案内容
その1

春
グループ

「移住記念式」

～市民の人生の節目に寄り添う、
変わらない場所・帰ってくる場所、京都市役所～



イベント内容

時期	4月14日(日)
場所	正庁の間と茶室
対象	前年度に住民票を京都市に移した方
内容	<ul style="list-style-type: none">・正庁の間で記念式典・茶室でお茶会(春の京菓子)・会議室で交流会(移住者同士の交流会)・相談会(様々な行政支援へつなぐ)

七五三、結婚式、
金婚式など様々なライフ
イベントを実施することで、
「市民の人生の節目に寄り添える
市役所」に近づけるのでは



100年前に建てられた歴史的な価値だけでなく、100年後もあり続ける、
「変わらない場所」という価値を存分に活かし、
思い出として市民の記憶に残り続けるイベントを企画

提案内容
その2

夏
グループ

「祇園ばやしミラクルWEEK♪」

～正庁の間に、京の文化に触れる～



イベント内容

時期	8月
場所	正庁の間と茶室
対象	ファミリー層・外国の方(留学生など)
内容	【メインステージ(正庁の間)】 ・祇園ばやしコンサート ・浴衣の着付け+撮影会 ・おはやし体験会 【サブステージ(和室)】 ・お茶会WEEK ・茶器と花器の展示会 ★京都市長が造った茶器の展示販売も!?

実は祇園ばやしは京都の中でも地域ごとに特色があります。ずっと住んでいる人でも意外と知りません。



- ・祇園ばやしの担い手づくり
- ・京都の伝統文化の紹介
- ・おはやしや鉾による浴衣の違い、茶道・華道の流派の違いが学べる
- ・京都市各地域の音頭をとって取りまとめられるのは京都市だからこそ
- ・伝統行事・文化を繋ぐ京都ならではの企画

提案内容
その3



18歳になったら、 京都市役所で成年式！



イベント内容

時期	四半期ごと第3土曜・日曜
場所	正庁の間と茶室
対象	・18歳もしくは19歳 ・京都市に住民票を有する方
内容	【正庁の間】 ・式典(成年式) ・プロのカメラマンによる写真撮影 ・振袖・袴のレンタル有(着付け付) ・コンサート 【和室】 ・お茶会(季節の御茶菓子付)

小・中学校の先生
にも会えるかも？！



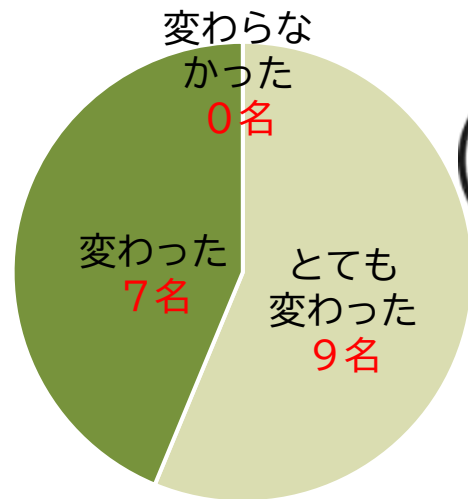
成人式(20歳)を前に成人を実感
京都に戻ってきたいと思える。
若者が気軽に京都市役所に集ることができる

選挙の啓発も同時に行うことで
若者の投票率アップも狙えるかも！

⇒若者が京都に愛着を持つきっかけに

考察 ワークショップ後のアンケートの声

建物に入る前後で印象は変わったか。



実際に使うことで身近な存在に。

あったかい場所に感じるようになった。

初めて中に入り、とても趣きのある素敵な建物でした。市民が親しみと誇りをもてる本庁舎だと思いました。

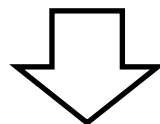
誰でも入れることができる場所だと変わりました。

当初近寄りがたい印象を受けたが、今は身近に感じることができました。

実際に来てみると思っていたよりステキな場所だった。

初めて入ったのでとても価値ある建物だと実感できた。

正庁の間・和室を手段（きっかけ）として捉え、
市民同士や市民と市政がつながりを感じられる場とする。

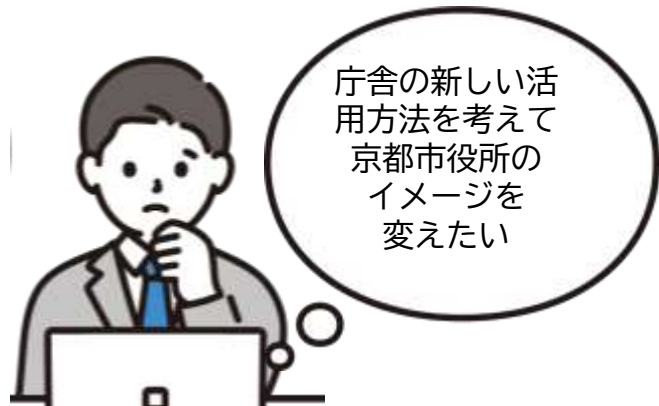


市民の方に庁舎を実際に使ってもらえれば
京都市役所のイメージをも変えられる。

どんな企画であれば市民の方が関心を持つきっかけになるか

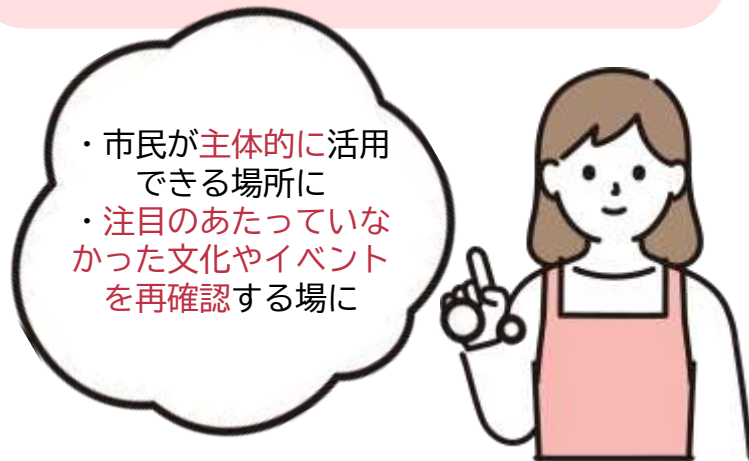
ファシリテーター（職員）側で
想定していたイベント像

- ・ 利用料などの収入源としての活用
- ・ 市庁舎を活用して社会課題の解決につなげたい
- ・ もっとたくさんの人に使ってもらい、愛着をもってほしい



ワークショップの中で
生まれたイベント像

- ・ よりどころとなる場所として活用
- ・ 伝統文化を守るための活用
- ・ 市民がお祝いされる式典の場所として活用



出てくる意見
に温度感の
違いあり



このギャップ
を埋めて
いきたい



条件や物理的なメリットがある活用だけでなく、
利用者の感情に訴えられるような
企画や事業を考える必要がある。

京都ならではの**文化を醸成**するイベントや、
これまでイベント化されていなかった**人生の節目を祝う場**
として使用することで建物はもちろん
京都市そのものに愛着を持ってもらえる機会に。



京都市民をつなぐ場の**象徴**となれたら

最後に

市民協働として大事にしている

「自分たちのまちは自分たちでつくる」

- 職員同士ではでなかった意見が生まれる
- 「できていない・やってほしい」という要望ではなく、「こうしたい・こうしよう」という市民主体のポジティブな主体的な意見が生まれる

<市民協働の本質的価値とは>

尊重しあって一緒に市政に参加すること



宣言

**私たちはそれぞれの職場で、
京都市民の感情に訴えられるような、
企画・情報発信を行い、
市民の中に入って盛り上げて、
市民と行政が同じ目線に立って、
身近な存在として、
協働して取り組みます！**

★ 参考（アンケート集計結果）

所属 チーム	自分の意見を 話せたか	新しい気づきや 発見はあったか	建物に入る前後で 印象は変わったか	印象はどのように変わったか (原文ママ)	感想 (原文ママ)	補足 (原文ママ)	
1	春	たくさん話せた	たくさんあった	とても変わった	誰でも入ることができる場所だと変わりました	ふだん関わらない人と考えていくのがすごく楽しかったです	市のHPを見て参加しました。(他の地域の政策と京都市の政策を比較した時に知りました。)
2	春	たくさん話せた	たくさんあった	とても変わった	初めて入ったのでとても価値ある建物だと実感できた	多様なメンバーの意見がゆうごうして思いがけないアイデアが生まれて良かった。	
3	春	たくさん話せた	たくさんあった	とても変わった	初めて中に入り、とても趣きの素敵な建物でした。市民が親しみと誇りをもてる本庁舎だと思いました。	年代、職業も違う方と話す場となりとても楽しく有意義な時間でした 市役所職員の方の意見を聞いて下さる態度も素晴らしく、これからも京都市民のためによろしくお願ひします	京都市ボランティア募集メールに登録しているのでそのメールを見て応募しました
4	春	たくさん話せた	たくさんあった	とても変わった	あったかい場所を感じるようになった	多様なメンバーの良い共創でした	京都の多様性をイベントで表現できれば
5	春	話せた	あった	とても変わった	職員の方自身が楽しんでいこうという意識が感じられた	市役所のイメージが上がりました	Facebookにメールでの案内を見かけて参加しました 正庁の間が見れるというところから申込みました
6	春	たくさん話せた	たくさんあった	とても変わった	閉じた空間からOPENな空間へ印象が変わった	それぞれを信頼しあってきたんなく話し合えた事がとても良かった。途中の席がえによって新たなアイデアが生まれた	本イベントに関してリマインドメールはあった方が安心かなと
7	夏	たくさん話せた	たくさんあった	変わった	派手さが不足していて、金、銀の茶室でもいいと思いました	若い将来の担い手の方々が優秀で、リードして頂いて楽しかったです。有難うございました	このワークショップの流れが事前にわかっているととっても良いかと思ひます
8	夏	話せた	あった	変わった	市役所を市民が自由に使えることが驚きであった	大成功ですね!!	

★ 参考（アンケート集計結果）

所属 チーム	自分の意見を 話せたか	新しい気づきや 発見はあったか	建物に入る前後で 印象は変わったか	印象はどのように変わったか (原文ママ)	感想 (原文ママ)	補足 (原文ママ)
9 夏	話せた	たくさんあった	変わった	実際に来てみると思っていたよりステキな場所だった	思いもしなかった意見が聞けて楽しかったです	
10 夏	たくさん話せた	たくさんあった	変わった	こんなにおしゃれな空間であることを初めて知った	とても楽しいセッションになりました	
11 夏	たくさん話せた	たくさんあった	とても変わった	当初近寄りたがい印象を受けたが、今は身近に感じる事ができた	色々な目線でみると多くの意見が出てきた	
12 冬	話せた	たくさんあった	とても変わった	お役所に行く、というイメージは楽しいものではなかったが、楽しめる企画を！と思っておられるのか良かったです。	是非成年式して欲しいです！ 今後に期待しています。	
13 冬	たくさん話せた	たくさんあった	変わった	サイズ感やふんいきがもっとかたいと思っていた	準備が行き届いていてすばらしかった	西川さんの司会がうますぎる！ 二人ともやわらかいふんいきで話しやすかったです
14 冬	たくさん話せた	あった	変わった	思っていたよりも、コンパクトでかわいらしいお部屋でした！	すぐもりあがって、さすがすぎました！	おつかれ様でした
15 冬	たくさん話せた	たくさんあった	とても変わった	和室のイメージが強かったが洋室が思った以上にきれいだった	イメージがたくさんふくらんで楽しかった。	
16 冬	話せた	あった	変わった	和室の方がだけが正庁の間だと思っていた	楽しかったです。	ありがとうございます

<集計>

たくさん話せた	たくさんあった	とても変わった
11	12	9
話せた	あった	変わった
5	4	7
話せなかった	なかった	変わらなかった
0	0	0
計	計	計
16	16	16



提案内容
その1

春 グループ ー企画の背景ー

ワークショップ
参加者の声



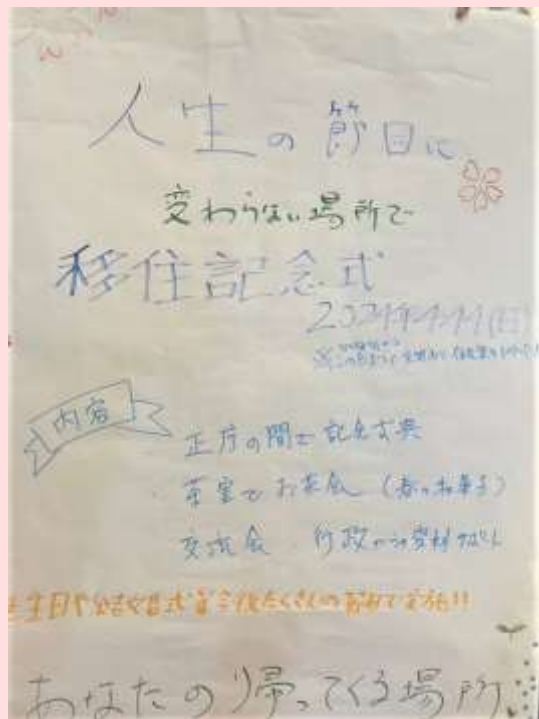
- ・京都市出身にも関わらず、本庁舎に来たことがない。
- ・こんな素晴らしいところがあるとは知らなかった。
友達に教えてあげたい。
- ・役所のイメージは「暗い、遅い、めんどくさい」
であり、良いイメージがない。
- ・今回の提案を実施することで、京都市役所が、
市民の心の拠り所となり、役所のイメージを
(思い出の場所)へ変えられるのではないか。

⇒ 「住みたいまち、京都市」に向けた第一歩へ

春

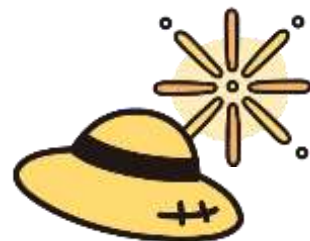
グループ

みんなのアイデア ~TEAM HARU~



提案内容
その2

夏グループ ー企画の背景ー



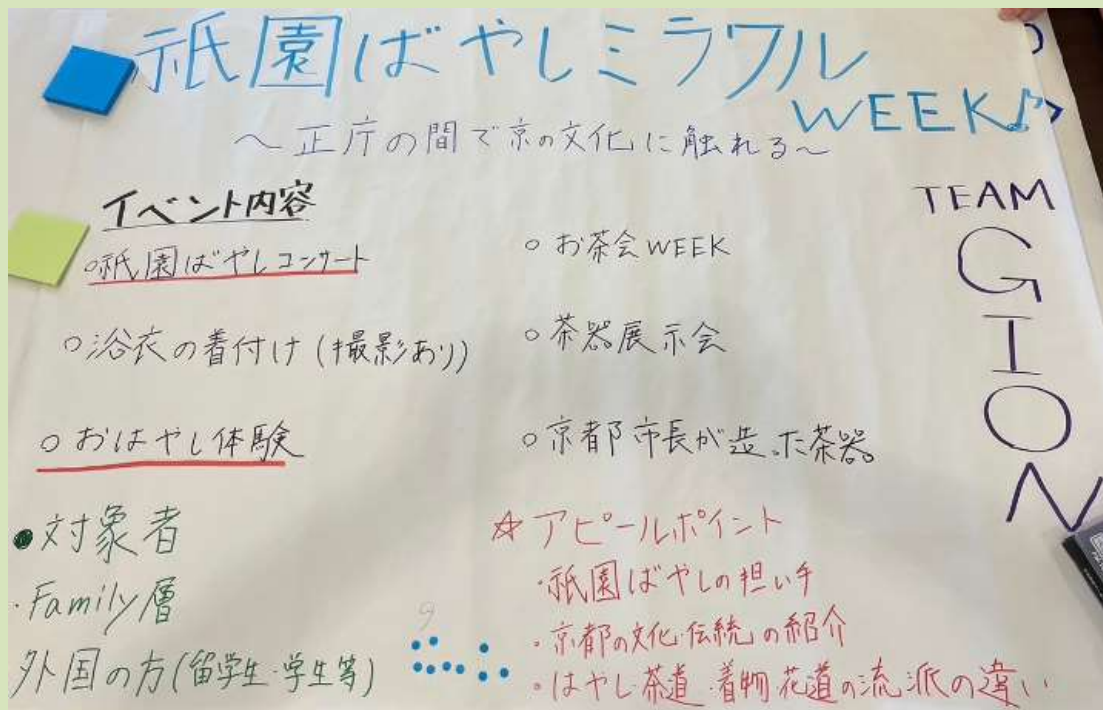
ワークショップ
参加者の声



- ・京都の夏の一大イベントといえば、祇園祭
- ・7月の本番が終わったあとで、8月に余韻に浸りながら、違った角度で祇園祭を楽しめたら♪
- ・「祇園囃子」は、山鉦により、メロディが異なる。このことは、京都の人でも知らない人が多い。
- ・そういった知識を聞きながら、さらにお囃子の体験もできることで、次世代の文化の担い手の育成にもなる。
- ・今回の提案を実施することで、市民が市役所を身近に感じて、文化の継承もできる

⇒**伝統行事・文化を繋ぐイベントを**

みんなのアイデア ~TEAM GION~



提案内容
その3

冬グループ ー企画の背景ー



ワークショップ 参加者の声



- ・役所に出向くことは、楽しいイメージがなかったが、ワークショップはとても楽しく取り組めた。
- ・和室があることは知っていたが、正庁の間は知らなかった。ワークショップに参加したことによって、市役所内に素晴らしい空間があると再認識した。
- ・ぜひ、今回のワークショップで出た提案を実現してほしい。参加対象のものは参加したい。

⇒若者が京都に愛着をもつきっかけを！

みんなのアイデア ~TEAM winter~

